

第 15 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会
第 9 回統合協議会建設検討部会（合同開催）議事録（要旨）

会議名	第 15 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会 第 9 回統合協議会建設検討部会（合同開催）
日時	平成 19 年 3 月 16 日（月）午後 3 時 00 分～午後 5 時 10 分
場所	杉並第五小学校 会議室
出席者	統合協議会（建設部会委員含む）委員 19 名（委員 10 名欠席）
事務局	9 名（学校適正配置担当部長、学校適正配置担当課長、営繕課長、学校適正配置担当係長、校舎改築担当係長、担当職員 4 名）
傍聴者	2 名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 統合協議会中間報告書について（学校適正配置担当係長） 3 統合協議会建設検討部会報告書について（学校適正配置担当課長） 4 校舎配置計画（最終案）の説明（設計事務所） 5 統合新校建設基本方針について 6 統合新校の基本設計段階における緑化検討について（小林委員） 7 閉会のあいさつ（学校適正配置担当部長） 8 閉会
資料	<p>資料 1 統合協議会中間報告書・統合新校建設検討部会報告書（素案）</p> <p>資料 2 統合新校建設基本方針（案）</p> <p>資料 3 統合小学校の基本設計段階における緑についての検討</p> <p>資料 4 統合新校建設基本計画</p>

1 統合協議会の開会

<会長>

第15回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会を開催いたします。

本日は、建設検討部会との合同部会との合同開催といたします。要綱に基づき傍聴を許可し、会議を進めてまいります。

本日の議題は、統合協議会として協議してまいりました校名、通学路、教育内容等につきまして中間報告として事務局がまとめております。その内容を確認してまいります。

また、建設検討部会の最終報告ということで、校舎の配置等についても確認してまいります。

では、配布資料について事務局から説明を受けます。

2 配布資料の説明<事務局：学校適正配置担当係長>

[資料1：統合協議会中間報告書・統合新校建設検討部会報告書（素案）]

- ・ 第1部は、本協議会として決定に至った事項（統合新校の校名候補）及び検討過程にある事項（通学路、統合新校の教育内容）についての中間報告としている。
- ・ 第2部は、建設検討部会で協議した基本計画案の最終報告としている。
- ・ 校名候補については、本協議会として「天沼小学校」と決定したこと、また、検討の経緯を可能な限り詳細に記載している。
- ・ 通学路及び教育方針については、継続して協議することとしている。

3 質疑応答

<委員>

P.2、P.10に誤字、脱字があることと、P.9の2行目に「学童擁護の方に…」という部分がありますが、意味がわかりかねます。

<事務局>

誤字、脱字については修正させていただきます。

P.9の部分は、交通安全指導員のことを指しております。括弧書きにより発言内容を補足させていただきます。

<会長>

他にご意見はございますか。なければ、この中間報告により、教育委員会に報告することでよろしいでしょうか。

<各委員> 異議なし

<会長>

ご承認いただきましたので、そのように進めさせていただきます。

次に、建設検討部会報告に移りますので、司会進行を建設検討部会長にお願いいたします。

4 建設検討部会の開会

<部会長>

第9回の建設検討部会を開催させていただきます。今回が建設検討部会としての最終回となります。

まず、配布資料の説明をお願いいたします。

5 配布資料の説明<事務局：学校適正配置担当課長、設計事務所>

[資料1：統合協議会中間報告書・統合新校建設検討部会報告書（素案）]

[資料2：統合新校建設基本方針（案）]

[資料4：統合新校建設基本計画（案）]

6 配布資料の説明<学識経験者>

[資料3：統合小学校の基本設計段階における緑についての検討]

7 質疑応答

<部会長>

資料説明に対するご質問がありましたらお願いいたします。

<委員>

地下のセンターコートの上スペースの広さはどれくらいか、また、各階のオープンスペースは、具体的のどの位の広さになりますか。エレベーターの大きさについても教えてください。

また、校舎中央部分のデッキテラス（2階平面図）は、冬はほとんど日照がとれないのではないのでしょうか。

<設計事務所>

畳スペースですが、今後の検討にも委ねられる部分です。今、想定している広さは4m四方で約16㎡です。8畳より少し大きい程度です。

<委員>

それをもっと広げられる余裕はあるのでしょうか。

<学校適正配置担当課長>

畳部屋を設置する要望はどここの学校からもあるのですが、実態としては物置になっている所が多いです。授業で使うはっきりした位置づけがあれば活用されると思いますが、今は敬老会館でも畳部屋を無くしている位ですから。今の段階では、この程度のものを考えているということです。

<設計事務所>

オープンスペースは普通教室と同じ大きさを設けております。コーナー的な個別学習室や調べ学習コーナー等を含めて1教室分となっています。

<委員>

つまり、個別学習室等の部分がなくなると、その分だけ普通教室の大きさよりも狭くなっているということですね。

<設計事務所>

はい。今のところはこういう形を想定しています。

<委員>

もう大体決まりなのですか。今回で協議会は最終回ですが。

<学校適正配置担当課長>

今までですと、細かいことは実施設計の中で学校と相談しながら詰めています。

例えば、給食室の調理器や棚のレイアウト等について、学校からかなり細かい要望が出てきます。

協議会ではおおよその程度に留めて、今後は約1年かけて実施設計を行います。学校と相談しながら進めていきます。

オープンスペースのことですが、他区の学校を見学した際に「ガランとしている」という印象がありました。そこで、ただ広だけの大きな空間ではなく、小さく区切って、使いやすい工夫をした方がいいと考えています。仮に、このようなレイアウトにしていますが、これから学校と相談して詳細は詰めていきたいと考えています。

<委員>

わかりました。私が懸念したのは、2学級が一緒に入れる空間というのが見つからなかったのです。学年が一緒に授業を受ける場所がどこにも無いように思いましたので質問しました。

<学校適正配置担当課長>

学年毎のまとまった空間は、教室の配置が^{がんこう}雁行しているためにこの図面からは読み取れないかと思いますが、少人数学習のスペースの配置も含めて実施設計の中で考えさせていただきます。

<設計事務所>

エレベーターの大きさも、今後の検討の中で詰めていくものと思っておりますが、この図面では13人乗りを想定した大きさとなっております。

<委員>

音楽室は最上階にありますが、ここにある楽器を体育館に運ぶことが多いと思います。その際、このエレベーターを使うことになると思います。エレベーターが小さいと楽器を運ぶ際の負担が大きいかと思います。

<設計事務所>

最後にデッキテラスの日照についてですが、ご指摘の通り建物に挟まれております。ですから、あまり日照は期待できないという状況です。

<委員>

果たしてこういうスペースが必要なのか、あるいは高い屋根を付けて、例えば登り棒の様なものを設置して、固定学級の子どもたちが訓練に使えるスペースにすることも考えられるかと思い、質問しました。

<部会長>

これは並行して検討を進めておりますエコスクール化検討懇談会に参加している人の知恵も入っております。

この校舎は空気を抜くということが大きな課題になってきます。従来型のハーモニカ型校舎であれば、窓を二箇所開ければ容易に空気を抜くことができたのですが、こういった平面的に塊のような校舎ですと上下方向だとか、様々な方向から空気を抜くことを考えなければいけません。

これが中庭の一番の目的です。副次的に夏に涼しく使う空間になるということもありますが、冬場だとどうしても使いにくい。しかし、それは止むを得ないことかと思えます。

<委員>

関連して、「風の塔」「光の塔」「ヒートチューブ」について質問します。

<設計事務所>

「風の塔（OA）」は吸気、「風の塔（EA）」が排気です。1階平面図の「外気取入口」から入れて、地下に送ります。地中の温度は年間安定していますので、そこから各教室に送る考えです。

また、「ヒートチューブ」は4階平面図にある「ソーラーコレクター」で暖めた空気を冬場は体育館の床から吹き出すことを考えております。

<委員>

この学校も災害避難場所になると思いますが、避難時の電力の供給はどうなっていますか。地下に自家発電があるようですが。

また、防災倉庫にはポータブルな発電機がありますが、そういうものとの関係はどうなりますか。

<学校適正配置担当課長>

自家発電は、防災倉庫が地下にございますので、災害の際に物品を移動するため最低でもエレベーターが動くように、また、屋内消火栓のポンプも動くようにしなければなりません。そのための電源と考えております。

<委員>

体育館のアリーナは、夏場には教室と同じようにクールチューブで冷やされた空気は送られてくるのですか。

<設計事務所>

教室と同様に考えております。

<委員>

教室の床から風が出てくるということでは、掃除のときのことが気になりました。

高学年の教室は4階です。更衣室が地下にありますが、4階にはプール用の更衣室があります。ここを、廊下側から入れるようにして、高学年の女子はここを利用できるようにすればと思います。

<設計事務所>

現段階では、プール更衣室は一旦外に出てから入ることを想定していますが、廊下側に入り口を設けることは可能と考えます。

<委員>

屋上も走り回れるスペースにさせていただきたいので、出来れば屋上緑化部分は藤棚の様に一段上げて、その下で自由に遊べる空間を作っていただければと思います。

防災倉庫が地下にありますが、防災訓練で使うようなリヤカー等はかなり大きな機材ですので、取り回しのことなども含めてドアの配置などを考えていただきたいです。

また、PTA室を設けていただきたいのです。

<学校適正配置担当課長>

開放会議室を2室用意しておりますので、そこを使っただけだと考えております。

<委員>

地下のセンターコートは間仕切りができるのでしょうか。

<設計事務所>

センターコートと開放会議室等の間は、フルオープンも可能な開放性の高い稼動式の間仕切りを想定しております。

しかし、センターコート自体は吹き抜けになっておりますので、空間としては分けられても部屋にすることは難しいと思います。

<副会長>

是非、検討していただきたいのですが、学校の歴史や郷土の様々な資料を集めた郷土資料室の事です。

杉五小にも若杉小にも現にございますし、資料として優れた物品もあります。これらは、一度無くしてしまうと二度と集まらない物ばかりです。単にメモリアル的なものではなく、地下にそのためのスペースが作れないか検討していただきたい。

もし難しいならば、更衣室をプールの方に持っていき、郷土資料のスペースを生み出していただきたい。3、4年生で使う教材でもあり、郷土を愛する気持ちを育てる観点からも必要と考えます。

質問ですが、教室後方のロッカー上部だけしか掲示物のスペースが無いのでしょうか。

<学校適正配置担当課長>

郷土資料については、それぞれの学校で大切にしているものも多いかと思えます。収納スペースのこともありますので、これからの検討で詰めていきたいと思えます。

掲示物については、まだオープンスペース内の個別相談室等の配置も決まっておられません。今後、学校とも相談しながら、オープンスペースをどのようにするか、その検討の中で決めていきたいと思えます。

<部会長>

それでは、ここまでの議論も踏まえたうえで、資料2「統合新校建設基本方針」(案)の「未決定」の部分について検討したいと思います。

<委員>

資料2の1番に「英語教育」という文言が入っていますが、これで正しいのでしょうか。また、「土曜スクール」という表現も杉並区では「土曜日学校」と言っています。

3番目に、「地域の風が通り抜ける学校」とありますが、抽象的過ぎてわかりにくいと思います。

<会長>

学校では、「英語教育」は「英語活動」として実施しています。「土曜スクール」も正しくは「土曜日学校」と言っています。

<学校適正配置担当課長>

その点については、修正させていただきます。

「地域の風が通りぬける学校」としましたのは、地域の方々が学校に来られて、学校を支えていただくことを表現したものです。表記については、差し替えさせていただきます。

<委員>

ここに書いてあることの大部分は基本設計に取り入れられています。私はこれでよろしいかと思います。

<部会長>

ありがとうございました。それでは学識経験者の方からコメントをお願いします。

<学識経験者>

三点申し上げます。

一点目は、この統合新校建設検討部会では、まず、どういう学校にするのか

という基本方針を立てるために議論し、そのことを設計に反映させてきましたが、そういったプロセスは非常に重要なことだと思います。この基本方針は、一般論に加えて、この地の特色を踏まえた項目も付け加えられているということで、こういうものが残っていくことが、これからの杉並区の学校のレベルアップに寄与すると思います。

二点目は、オープンスペースについて、何をそこで行うのかということをお前提として設計をしてほしいということです。建物をつくって、普通教室に机を入れるだけ、という状態ですと、オープンスペースがガランとして、有効に使われない状態になってしまいますので、オープンスペースでどんなことを行うのか、それにはどんな家具が必要かということを実施設計でよく検討していただきたいと思います。

三点目に、エコスクール化ということについては部会長や区が非常に前向きに取り組んでいるようで、大変結構なことだと感じました。以上です。

<部会長>

今後設計を進めていくにあたりまして、法規的なことやランニングコストのことなど、様々な検討があると思います。今日まではこの協議会で学校を使う側の方からのご意見をいただいていたのですが、たとえばランニングコストとの兼ね合いで今後プランが変わってくる、などのこともあり得ると思います。そういった時に委員の皆さんには、ぜひご理解をいただきたいと思います。やはりできるだけ自然エネルギーを使って、低エネルギー消費で設計を行っていくという流れの中で、若干のプランの変更がありましても、暖かい目で見守っていただければと思います。

今日で建築検討部会は終了しますが、この後も皆さんは設計に影響を与えることができます。それは皆さんがPTAの会議や町会の会議などの中で、学校について新しい事例を見に行くなどして勉強し、それらの結果をまとめて、事務局に文書としてお出しになることです。そうすれば、事務局はいくらか設計に反映して下さるのではないかと思います。

また、杉並第五小学校、若杉小学校の同窓生の力を活用していただきたいと思います。同窓生の中にはたとえば林業の専門家の方などがおりますので、そういった方をお呼びして講演していただくとか、学校の運営に協力していただくことなども考えていただければと思います。

最後に、こういった校舎建設の機会を生きた教材として利用していただきたい

いということがあります。ここの子どもたちは学校の建設に立ち会える、非常に貴重な機会がありますので、建物の建設にはどういった過程があるのか、眼のあたりにしながら、改築の計画に子どもたちも参画する機会をつくり、教材として利用していただきたいと思います。

たとえばサイン計画があります。室名札づくりや学校の表札づくりなど、これは美術の教育となります。緑化計画についても専門家をアドバイザーとして参加してもらうとか、保護者や子どもたちと一緒に計画を進めていくなどの方法があると思います。

それでは他にご意見はございますか。

<委員>

P. 15 の漢字の表記について、また、P. 16(4)②の冷房の必要性のところ、夏の暑さのことだけが指摘されていますが、光化学スモッグ発生時のことも含めて議論されたはずです。

P. 19(4)のところ、冷房設置の要望とありますが、エコスクール化の重要性を認識した上での意見であったことを追記していただきたい。

P. 20(3)のところでは、西側配置の案も検討したことを記載していただきたい。

P. 21 (2)、4階に普通教室を置くことについては、他区にも4階に配置している学校があり問題がないということも、この配置案に至った要素でした。

P. 22(2)⑤、A-2案に至った経緯について、C案では、近隣への日影の影響があることも要素の一つであったことを追記していただきたい。

また、北側からの風が懸念されたが、植栽やネットで軽減できることも A-2案に賛成する要素であったので追記していただきたい。

<委員>

今、杉並第五小の敷地には2本のサクラがあり、子どもたちにとってシンボルのようになっています。もし、工事によってどうしても切られてしまうということであれば、何かサクラの木に対する感謝の気持ちを表現できるような行事を行っていただければと思います。

<学校適正配置担当課長>

現在改築中の高井戸小学校には校庭の真ん中に木があり、工事によりやむを得ず切らせていただきましたが、子どもたちの心情に配慮して、学校で、お別

れ会のようなものを行いました。今後、具体的になればそういった学校の取り組みも出てくるとかと思います。

<委員>

校庭緑化はどうかのでしょうか。

<学校適正配置担当課長>

全面的に芝生化するか否か、また、NPO 団体との協働の取り組みも出てきております。今後の課題と考えております。

<委員>

3年生で蚕を育てるプログラムがあるのですが、桑の木を3本ぐらい植えていただければと思います。蚕に桑の葉を食べさせるのですが、近隣にはなかなかないです。

<学識経験者>

そのように、現在行っていること、これから行うことが、木を1本植えるだけでもできるようになることもあります。何を行うかをよく検討して、緑化計画を行っていただければと思います。

<部会長>

他にご意見がないようでしたら、最終的なとりまとめは今までいただいたご意見をもとに部会長と事務局に扱いをご一任いただけますでしょうか。

<各委員> 異議なし

<部会長>

ありがとうございます。それでは一年間に渡って、ご協力いただき、ありがとうございました。これにて建設検討部会は閉会といたします。

8 閉会のあいさつ

<教育長代理：学校適正配置担当部長>

昨年6月より、部会委員の皆様には、長期間に渡り真剣なご議論いただきま

したことに感謝申し上げます。

なお、統合協議会委員の皆様には、来年度も引き続きご検討いただきます。
よろしくお願いたします。